

9月

## 定例議会質問

新政会 しんせいかい だより

# 新政会 しんせいかい だより

平成23年10月18日発行

第9号

発行/静岡市議会 新政会  
編集/新政会 広報部  
〒420-8602  
静岡市葵区追手町5番1号  
TEL 054-254-2111  
(内4505)  
FAX 054-653-3412

- 1 まちみがき戦略推進プランについて
  - (1) 今日の行政用語の「戦略概念」
  - (2) 戦略推進プランの「戦略」の意味
- 2 組織運営のあり方について
  - (1) 市民の立場・視点から捉えた「組織編成」
  - (2) 行政組織の「局際化」の意図とあり方
- 3 まちづくりの「戦略目標」について
- 4 観光戦略の「SWOT分析手法」について



田中 敬五

### 当局答弁 (抜粋)

市政全般が専門性や多様性を増す中、一つひとつの事業への期待も多面的になっている。現在、それぞれの組織ごとに事務分掌を決めて事務を進めているわけですが、各々で進める事業が特定の組織に完全に収まらないこともあり、事業実施にあたっては、他の組織との連携が必要である。市の実施する事業を多くの市民の方々に幅広く利用していただくため

には、丁寧でわかりやすい案内が必要であると考えている。

行政組織の「局際化」とは市の組織単位である局においても、事業を進めるにあたっては、局の枠を越えて協力連携し、市が持っている人や財源など全ての経営資源を効果的、効率的に活用し、最大限に能力を発揮していくことを意味している。縦割り行政の弊害を、排除することにつながっていく。

### 尾崎 剛司 (Ozaki Tsuyoshi)

- 1 市長の政治姿勢
  - (1) 議会との関係
  - (2) 現状 (縦割り行政) 打破
  - (3) 行政の無謬性と評価
- 2 東日本大震災を教訓として
  - (1) 地震予知 (2) 津波対策
- 3 トップセールスとシティプロモーション
  - (1) すしの都
  - (2) 静岡おでん
  - (3) B-1グランプリ誘致

### 地震予知について、津波対策の観点からも市として力を入れるべきだと思うがどうか？

近年、地震予知に関する研究は一段と進歩をしており、市内においても静岡大学の防災総合センターをはじめ、東海大学などでも防災や地震予知に関する様々な研究が行われている。本市としても、地震予知が災害被害の軽減に大きく貢献することから、研究者を研修会に講師として招くなど、積極的に交流を図り、研究についての情報収集を行っている。今後とも研究機関と交流・連携しながら、地震予知の研究についての情報を蓄積し、本市の防災対策に活かしていきたい。

- 1 田辺市長・市政方針について
  - (1) 市民力醸成について
  - (2) これまでの施策・事業等への市民の意見・要望について
- 2 文化政策について
  - (1) 芹沢銈介美術館について
  - (2) その他の文化・社会教育施設について



### 佐藤 成子

#### 市民力の醸成について

現地現場主義を掲げ、市民の皆さんの声を聴く場を大切に考えている。「静岡・まちみがきトーク」等では、「まちみがき戦略推進プラン」について、市民の皆さんと活発な意見交換が出来た。津波対策・災害ボランティア・子育て支援等の具体的な経験、体験談が語られ、意見の重さを感じた。又、自分たちのまちのことを自ら考え、行動する方が多くいる事を知り、着実に、市民力が高まってきていると実感。この市民力を活かすため、今後も直接話す機会を多くし、大切にしていきたい。

## 静岡市 まちみがき戦略 推進プラン

### 策定に関する政策提言

平成23年9月16日、新政会は田辺市長に対し、「静岡市・まちみがき戦略推進プラン策定に関する政策提言」を行いました。本年度は市長の交代があり、田辺新市長のもと、「まちみがき戦略推進プラン」が策定され、田辺ビジョンとして第2次総合計画の改定版へと反映されます。そこで、私たち新政会は、「現状打破」を加速させる為の具体策として、緊急津波対策の推進や総合特区制度を活用した日本平と久能山の整備などを求める政策提言を行いました。また、今回の政策提言を第2次総合計画改定版に位置付けることで、実施計画へと展開させ、加えて東日本大震災の教訓を活かした



減災への取り組みと、市長が強力に取り組んでいる観光都市静岡の戦略を、スピード感を持って実行する事を要望しました。さらに、様々な事業を実行するにあたり、具体的数値目標を定め、事業に対する成果を評価検証する事を要望しています。



### 具体的対策 (一部抜粋) ※詳細は会派HP

#### 健康・福祉 地域ケア体制の充実

→介護事業の小規模多機能施設を1自治区(中学校区)に1か所以上の整備計画策定

#### 文化・学習 エコスクールの推進

→防災機能を有した学校施設の改修計画策定と校庭の芝生化計画策定

#### 防災 「5分で500m」の緊急津波対策の推進

→①地震予知研究の強化と予知避難訓練実施計画の策定及び実践

②沿岸部の避難ビル確保と避難タワー建設計画の策定

③沿岸部公共施設の津波対策強化

④市営住宅や学校施設等の公共施設及び民間耐震施設の高層階や屋上避難に関する避難場所の確保と緊急避難階段や屋上フェンス設置に関する整備

⑤津波の被害想定図(ハザードマップ)を今回の地震による津波被害データ解析に基づいた修正と再構築

⑥津波被害想定地域における消防団や自主防災への定期的津波対策訓練と連携強化

⑦災害用備蓄(食糧、飲料、自家発電機、燃料、医薬品等)を津波から守るための在り方再検討

#### 生活・環境 省エネルギーのさらなる推進

→市営発電の研究と街路灯のLED化計画策定

#### 観光 「寿司の都・しずおか」の実現

→平成27年度の「B-1グランプリ」静岡市開催に向けた誘致活動の推進

◆総合特区制度を活用した日本平・久能山の磨き上げ  
→久能山東照宮の国宝指定に伴う周辺整備と家康公鎮座400年祭に向けた環境整備

### 新政会教育現場視察報告書

日時 平成23年9月9日(金)  
場所 蒲原小学校・由比北小学校・清水袖師小学校



平成23年9月9日、例年実施している新政会の教育現場視察を行った。清水区内の蒲原東小の防災対策や、由比北小のプールの老朽化、袖師小学校のトイレの老朽化などを視察し、教育現場の抱える問題点について調査した

蒲原東小学校：海拔9.2m、海岸に15mの防波堤が設置され、海岸から約150mに位置している。津波の襲来が心配されるこの小学校において、どのような防災対策が取られているのか、現状と課題を調査した。

蒲原東小学校では、避難場所や引き渡し方法の検討を行い、運動場から校舎3階(海拔17.2m)に避難場所を変更した。また、大津波では近くの8階建住宅に避難する事を決定した。課題としては、校舎3階に備蓄してある食料や毛布を移動することを検討中であるという。

袖師小学校：この学校は、

校舎が昭和36年に建てられ、校舎の老朽化に伴い、トイレの老朽化が問題となっている。トイレの配水が悪いため、つまりやすく悪臭がひどい。当局もなんとか応急処置をしているが、間に合わないという現状を聞いた。また、ライフスタイルの変化に伴い、トイレの洋式化を望む声が多く出ているという。

議員からは、子どもの生活環境を考え、すぐにトイレの整備をすべきであるという意見が多く出された。



### 議員力の向上を目指して

～二元代表制を問う～



講師：法政大学教授 廣瀬 克哉氏  
(自治創造コンソーシアムローカルマニフェスト評価研究委員会委員長、自治体議会改革フォーラム呼びかけ人代表。議員力検定共同代表も務める。主な著書：「議員力のススメ」「情報改革」など)

多くの地方議会で分権時代における二元代表制にふさわしい議会の在り方が検討されている。議会の基本理念や役割、権限など議員自らの在り方も含め、議論しなければならない時期にきている。今回新政会では、自治体議会改革フォーラムの呼びかけ人代表で、議員力検定共同代表でもある法政大学廣瀬教授を講師に迎え、「議員力向上を目指して」と題し、勉強会を開催した。



### 全国都市問題会議 鹿児島 平成23年10月6日～7日



物が醸し出す「気」が満ちている」  
◇「スピードやキレがある行動、人々を迎える緊張感がそんな『気』を生み出せる」

第73回全国都市問題会議(全国市長会、鹿児島市など主催)が10月6日、7日の両日、鹿児島市で行われた。「都市の魅力と交流戦略」をテーマに、全国の市長、市議ら約2000人が参加。基調講演したJR九州の唐池恒二社長から「歩いて楽しめることが、まちづくりにとって大切」などと、JR九州沿線の市町の取組みが紹介された。

◇「新幹線全線開業効果を広げるため、在来線に走らせた観光列車(はやとの風、いさぶろう・しんぺい、指宿のたまて箱など)が、地元の人々に観光資源として活用され、思わぬ相乗効果が生まれてきている」

◇「魅力あるまちには、住民のまちへの思いや古い建物

### 服織小学校 施設の安全対策 平成23年9月26日(日)



静岡市葵区羽鳥の市立服織(はとり)小学校に面した市道で15日午後、市の発注で下水道工事をしていった市内の土木業者のトラックをはねる事故が発生しました。男子児童は太ももの骨を折るなどの重傷を負いました。新政会では、現場確認と学校及び施設管理部門とのヒアリングを行い、学校施設の安全対策を推進します。

### 第2回 田辺市長との政策情報交換会

月日 平成23年7月28日 場所 静岡市庁舎会議室  
出席者 田辺市長  
望月厚司・田中敬五・兼高正男・中山道晴・水野敏夫・遠藤広樹・佐藤成子・尾崎剛司・池邨善満・後藤哲朗

定期的な政策情報交換会議として、今回は、新政会が行った東北・奥尻・台湾の視察から見える課題を説明し、「静岡市防災計画・津波対策」「東静岡駅周辺の市有地」について市長の考え方を聞き、意見交換会を行った。

